

# 聞きたい時に、聞きたい番組をもう1度! ゆうせんオンデマンド

有線放送の新しいサービス、133番「ゆうせんオンデマンド」が10月1日からスタートしました。

「ゆうせんオンデマンド」は、放送された番組をもう1度聞くことができるテレホンサービスで、朝・昼・夕方の定時放送と9つの企画番組を聞きたい時にいつでも、有線電話の受話器でお聞きいただけます。

利用方法は、有線電話機のダイヤルボタンを**1 3 3**と押し、音声ガイダンスに従って聞きたい番組の番号を選んでいきます。皆さんの生活時間に合わせてご利用ください。

有線電話機のダイヤルボタン**1 3 3**を押し、音声ガイダンスに従って聞きたい番組の番号を選んでください。

サービス番号	選択1	選択2	番組名
1	1	1	おはよう上越
		2	ゆうせんホットスタジオ
		3	ニュースフラッシュ(夕)
3	2	1	随想の広場 児童文学作家 杉 みき子さん
		2	随想の広場 笑いヨガティーチャー 田島 弘司さん
		3	随想の広場 フードコーディネーター 上原 みゆきさん
		4	随想の広場 元南極観測隊越冬隊長 横山 宏太郎さん
		2	「俳句の心・季節の心」 上越俳句連盟顧問 星野 八郎さん
		3	「くろみつギター弾き語り～歌で逢いましょう」 シンガーソングライター くろみつさん
		4	「古径芸術の軌跡」 元古径記念美術館館長 小林 新治さん
		5	「知って得する暮らしのマナー講座」 ファイナンシャルプランナー 藤野 茂樹さん
		6	「高田開府400年～高田城と高田城下町」 上越市立総合博物館学芸員 荒川 将さん
		7	「野草観察タイム」 上越植物友の会会長 小川 清隆さん
3	3	8	お話玉手箱～ジャックの会の読み語り
		9	ぼくの作文・わたしの作文
	3		使い方ガイド

1 今回・2 前回・3 前々回(過去3か月の番組)

## コードレス電話に替えれば どこでもオンデマンド

現在利用している有線電話機を市販のコードレス電話機(注1)に取り替えれば(注2)、離れた部屋で受話器を持たずにオンデマンド放送を聞くことができます。

(注1)子機内蔵スピーカーから相手の声が聞こえる機種(ハンズフリー機能)を使用した場合。

(注2)有線電話機本体裏のモジュラージャックをはずし、差し替えるだけで、どなたでも簡単に取り替えができます。



お問い合わせは

**IJHK I**

公益社団法人上越市有線放送電話協会 〒943-0153 上越市鴨島1-2-39  
TEL **523-6567**

有線番号 **53-3333** E-mail [info@jhk.or.jp](mailto:info@jhk.or.jp) ホームページ [上越ゆうせん](http://www.jhk.or.jp) 検索

**IJHK I**  
有線放送  
番組ガイドブック

第31号 平成25年12月8日発行

# ゆうほう通信

発行/公益社団法人 上越市有線放送電話協会 〒943-0153 新潟県上越市鴨島1-2-39 電話(025)523-6567 有線番号53-3333

## 学び舎の うたが聞こえる

校歌集  
CD完成

上越市有線放送電話協会では、旧上越市内の全小学校29校と閉校した市内の学校9校の校歌38曲を収録した校歌集CD「学び舎のうたが聞こえる」と楽譜・歌詞集を作成し、上越市立図書館や旧上越市内の小学校に寄贈しました。



飯野憲静理事長(右)から中野敏明教育長に寄贈しました。

CDは、平成22年11月から約3年間にわたって放送した番組「学び舎のうたが聞こえる」で紹介した校歌をまとめた3枚組です。

現在ある学校は在校児童の合唱を録音し、閉校した学校(高田第三尋常小・高田市立春日中・諏訪中・津有中・中ノ俣小・直江津高・桑取小・黒川小)や歌われなくなった校歌(南本町小旧校歌)は残されていた音源をデジタル化したり、卒業生や在校児童による合唱を収録しました。楽譜・歌詞集は楽譜と歌詞、校歌の由来などをまとめたA4判・74ページの冊子です。

上越市教育委員会への寄贈で、中野敏明教育長は「本来は教育委員会がしなければならないことだと思うが、とても良い企画。校歌は、子どもたちへの思いや学校・地域の歴史、伝統、文化、風土を大事にしてつくりたい。まとめていただき大変ありがたい」と述べました。有線放送の飯野憲静理事長も「校歌は一つの文化財。子どもたち、地域に歌い継いでほしい」と言葉を寄せました。



校歌集CD

「学び舎のうたが聞こえる」は、高田図書館・直江津図書館で聴くことができます。  
(直江津図書館では貸出可能)